

学内グラント 報告書

平成24年度 学内グラント終了後報告書

体幹筋機能が膝前十字靭帯損傷メカニズムに及ぼす影響

研究代表者 大久保 雄（保健医療学部 理学療法学科）

研究成果リスト

論文

- 1) Okubo Y, Kaneoka K, Shiina I, Tatsumura M, Miyakawa S. Abdominal muscle activity during a standing long jump. J Orthop Sports Phys Ther 2013;43(8):577-82.
- 2) 大久保雄. 腰痛におけるcore exerciseの実際. 臨床スポーツ医学 2013;30(8):721-6.
- 3) 大久保雄. Core stabilization exerciseの効果検証. 埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会誌 2103;4(1):32-7.
- 4) Imai A, Kaneoka K, Okubo Y, Shiraki H. Effects

of two types of trunk exercises on balance and athletic performance in youth soccer players. Int J of Sports Phys Ther 2014;9(1):47-57.

学会発表

- 1) 大久保雄. トレーニングおよびスポーツ活動時の体幹筋活動, 第2回早稲田体幹筋機能研究会, 平成26年3月7日, 東京
- 2) 飯塚哲司, 大久保雄, 原由美, 神舘盛充, 大橋力也, 青木万里子, 金岡恒治. 蹴伸びやジャンプ動作に与える体幹深部筋トレーニングの即時効果, 第2回早稲田体幹筋機能研究会, 平成26年3月7日, 東京

携帯型眼振記録装置による, 新しいめまい診療システムの確立

研究代表者 新藤 晋（大学病院 耳鼻咽喉科）

研究成果リスト

学会発表

- 1) 新藤晋, 杉崎一樹, 池園哲郎, 松田帆, 柴崎修, 伊藤彰紀, 水野正浩, 加瀬康弘. ドライブレコーダーを利用した携帯型眼振記録装置の試作, 第114回日本耳鼻咽喉科学会総会, 平成25年5月, 北海道